別記様式2別添

《記入例》

「飼料用米多収日本一」生産数量報告書

【各項目の記載は、地域再生協議会等に提出している営農計画書等を元に記載願います】

1　当年産の経営概要

(1)氏名(集団名:代表者名)	(ふりがな)　のうじくみあいほうじん ○○のうさん だいひょうしゃ のうりん いちろう 農事組合法人○○農産　代表者　農林　一郎
(2)品種名	北陸193号、モミロマン ※複数の品種を作付けしている場合は、以下項目の記載は合計値を記載してください。
(3)飼料用米作付面積(※1)　a	1,174a
(経営全体の全水稲作付面積)　a	2,534a
(全経営面積)　a	3,458a

多収品種(特認品種を含む。)が対象です。

多収品種(特認品種を含む。)が対象です。
営農計画書等に記載された多収品種の作付面積を記載してください(種子生産用の作付面積は除く。)。

水稲以外を含めた全ての品目の作付面積を記載してください。

※1 需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙様式第6－2号等の生産面積
(飼料用米種子面積を除く。)

2　生産数量

全収穫量(※2) kg	88,050kg
・10a当たりの収量(a)	750kg/10a
(地域の基準単収(b))	600kg/10a
(地域の作況指数(c))	101.0
・基準単収との比較 (　a　－(b×c÷100)　)	144.0kg/10a

作況指数の廃止に伴い、本年度は計算方法を変更する予定です。
新たな計算方法及び報告書の様式については、作況に関する新指標決定後に改めて公表します。

※2 需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙様式第6－2号等の収穫量(飼料用米種子の収量を除く。)

【注】以下(3～5)の項目は記載を省略いただいて構いません。

3　その他

記載省略可

(1)収量の増減要因 (収量向上に効果の高かった取組や、収量が減少した場合はその要因) (該当に☑を入れてください。複数選択可)	【収量向上に効果のあった取組】 ☐:品種　☐:施肥　☐:天候 ☐:病害虫防除　☐:その他(　　) 【収量減の要因】 ☐:品種　☐:施肥　☐:天候 ☐:病害虫被害　☐:その他(　　)
(2)生産コスト低減の効果 (コスト低減に最も効果が高かった取組を記載)	

添付資料:需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙様式第6－2号等の根拠書類の写し

4　飼料用米の販売先等（該当に☑を入れてください。）
　※参加申込時点から変更がある場合は、記入してください

記載省略可

（1）販売先名	
（2）流通区分	□：県外流通　□：県内流通 □：自家利用　□：不明

5　飼料用米の販売価格等（実需者と直接取引を行う場合で、販売価格等を把握できる場合のみ回答してください。）（該当に☑を入れてください。）
　※参加申込時点から変更がある場合は、記入してください

（1）引渡方法	□：生産者持込　□：実需者等引取
（2）輸送費負担	□：生産者負担　□：実需者等負担
（3）農産物検査（検査料負担）	□：生産者負担　□：実需者等負担　□：未受検
（4）販売価格(品代) （可能な範囲で記入してください）	品代（　　）円/kg
	□：輸送料・手数料等差し引き前の価格 □：輸送料・手数料等差し引き後の価格
（5）輸送料・手数料等 （可能な範囲で記入してください）	輸送料（　　）円/kg
	手数料（　　）円/kg
	その他（〇〇料：　　）円/kg